年　　組　　氏名

大分合同新聞 2026年5月19日(火) 2面

若きアスリートたちの祭典「大分県高校総合体育大会」の総合開会式が20日、大分市のクラサス武道スポーツセンターで開かれる。競技は30日～6月1日を主日程に、県内各地で熱戦が繰り広げられる。

昨年の大分県高校総合体育大会総合開会式。選手宣誓をする生徒＝大分市のクラサス武道スポーツセンター

74回目を数える今大会は、34競技に57校約6500人の高校生がエントリーした。参加者数は10年前（第64回大会）から約千人減少しているものの、選手たちの競技にかける思いや会場の熱気に変わりはない。

見どころは春の全国大会出場組になるだろう。中でも剣道団体とハンドボールは注目。いずれも男女ともに2校ずつが大舞台を踏み、全国高校総合体育大会（インターハイ）の出場枠「1」をかけて火花を散らす。

剣道女子は全国高校選抜大会準優勝の明豊、県新人大会と全国高校選抜大会予選を制した柳ケ浦がぶつかる。ハンドボールは男子が大分雄城台と大分、女子が大分と大分鶴崎。男女ともに県新人大会と全国予選を兼ねた九州新人大会の勝者が入れ替わっており、激戦は必至だ。

個人競技はライフル射撃男子ビームピストルの野村一生選手（別府翔青）、重量挙げ女子48キロ級の宮園こはく選手（国東）が春の日本一に輝いた。そのほか、入賞した選手たちを含めて、夏以降の全国大会に向け、さらなる成長を遂げている姿を見せてくれるだろう。

また、多くの3年生は県総体が最後の試合となる。学校生活や学業と両立しながら打ち込んだ部活動の集大成を迎える生徒たちの奮闘にも注目してもらいたい。

一方、大会の盛り上がりを支

論説

2026.5.19

県高校総体

「感動と安全」の両立を

えるためには、選手たちの安全確保が欠かせない。5月に福島県の磐越道で発生した部活動バスの痛ましい事故は、重い教訓を突きつけた。移動の安全確保は、運営側や各校にとって最優先の事項である。

県教委は同月上旬、県内全ての高校と特別支援学校に対し、学校管理自動車の運用基準や部活動のレンタカー利用に関する取り扱い要領などを再度確認することを要請。車両点検やドライバーの状況把握を徹底するよう周知した。

県高体連によると、私学を含め全ての県総体参加校に同様の文書を案内し、対策の徹底を図るよう求めたという。多くの学校が遠方から集う今大会において、選手を無事に会場へ送り届け、笑顔で帰宅させることは、競技の結果以上に重い責務だ。

加えて、近年の異常な猛暑への対策も急務である。5月下旬から6月にかけての気温上昇は著しく、熱中症のリスクは年々高まっている。競技の質を高めるためにも、選手の体調を第一に考えて万全の備えを取ってもらいたい。

これまでもさまざまな困難を乗り越え、先人たちが守り抜いてきた。主催者、学校、競技団体が協力し、「感動と安全」の両立を図ってほしい。

©大分合同新聞社　教育目的以外の無断転載・複製および頒布は禁止します。

大分合同新聞
ワークシート

年　　組　　氏名

〔問①〕記事の内容を正しく理解するために、次の文章の（　　）内に当てはまる適切な言葉や数字を、記事中から探して書き入れてください。

今大会の参加者数は、10年前と比べて約（　1000　）人減少しています。その一方で大会の盛り上がりを支えるためには選手たちの（　安全確保　）が欠かせません。大分県教委は5月上旬、移動時の事故防止に向けて、学校管理自動車の運用基準や部活動での（　レンタカー　）利用に関する取り扱い要領などを再度確認するよう県内全ての高校と特別支援学校に要請しました。

〔問②〕あなたなら、この記事内の「見出し」のスペースにどのような見出しを付けますか。また、その見出しにした理由を記事の内容を根拠として示しながら書いてください。

新しい見出し：「感動と安全」の両立を

理由：記事の前半では、剣道やハンドボールなどで全国を視野に「火花を散らす」選手たちの熱気を報じています。しかし後半では一転して、福島県での部活動バス事故の教訓や、近年の異常な暑さを挙げ、「選手を無事に帰宅させることは、競技の結果以上に重い責務だ」と安全対策の重要性にも言及しています。開会式を前に、この「大会の盛り上がり（感動）」と「リスク管理（安全）」という、記事が訴える2つの要素を伝えるためには、この見出しが最も適切であると判断したためです。

〔問③〕記事の中では「選手を無事に会場へ送り届け、笑顔で帰宅させることは、競技の結果以上に重い責務だ」と述べられています。あなたが部活動の遠征や学校行事で移動する際、また日々の活動の中で、「安全」を確保するために自分自身の手で実践できる具体的な行動にはどのようなものがありますか。1つ挙げて、あなたの考えを書いてください。

(解答例) 乗車する車両（バスやレンタカー）の運転手が疲れていないか、体調に異変がないかを乗車時に挨拶を交わすなどして意識することや、走行中にシートベルトを全員が確実に着用するよう声を掛け合うといった、当事者意識を持った行動を実践します。

©大分合同新聞社　教育目的以外の無断転載・複製および頒布は禁止します。